



# プトラ・マレーシア大学

## Universiti Putra Malaysia



●学生 約21,000人 ●教員 約1,800人  
ホームページ <http://upm.edu.my/>

交流協定締結年月日：2019年11月18日 主管学部：医学部



### 国際交流の特色

プトラ・マレーシア大学(UPM)は、1931年に設立された農業学校を起源としています。1947年にマラヤ農業大学が設立され、1973年に農学部、林学部、獣医学部を擁するUPM (Universiti Pertanian Malaysia)に発展しました。その後1980年代に幅広い科学技術分野に拡張され、1997年にUPM (Universiti Putra Malaysia)に改称されました。現在はマレーシアの科学技術の中心をなす大学のひとつとして中心的な役割を担っています。首都クアラルンプール南部郊外、マレーシアの政府機関が立地するプトラジャヤに隣接したSelangor州Serdangに、アジアでも有数広大な敷地を有しています。農学部、林学部、獣医学部、経済経営学部、工学部、教育学部、理学部、食品科学部、人間生態学部、現代言語コミュニケーション学部、デザイン学部、医学健康科学部、コンピュータ科学情報学部、バイオテクノロジー・バイオ分子科学部、環境学部、農業食品科学部を擁し、広範な科学技術分野をカバーする総合大学ですが、ハラル製品研究所、熱帯雨林・林産研究所といった特色のある研究所を運営しています。2019年度のTHEランキングは801-1000、アジアランキング188、QSランキング202であり、特に国際性が高く評価されています。

### 交流実績（令和2年度～令和4年度）

年度	R2	R3	R4
受入・派遣			
学生の受入	1	1	0
学生の派遣	0	0	29
研究者・職員の受入	0	0	0
研究者・職員の派遣	0	0	3
オンライン交流参加者（本学）	0	0	8
オンライン交流参加者（相手機関）	0	0	0



2016年10月、Soh Kim Lam 看護部門長、Salimah Japar 講師が、本学、前国際オフィスを表敬訪問しました。

### 教員からの声

UPMはマレーシア国内でも高く評価されている大学であり、本学のマレーシアにおける拠点大学として重要なパートナーです。2016年10月にUPMのSoh Kim Lam 看護部門長らの本学訪問を契機として交流が始まり、2017年度～2019年度さくらサイエンスプランにて若手研修者計6名を招聘し生活習慣病関連分野の研修を実施する一方、本学の教員がUPMを訪問して協議し、2019年11月18日に交流協定の締結に至りました。最近も、コロナ禍にもかかわらず大学院生1名が医学系研究科に入学したほか、学生主宰の交流イベント等が開催されています。さらに2023年3月には20名の香川大学生を派遣しており、今年度も同時期に派遣を予定しています。このように、関係の発展・強化が着々と進んでいます。

令和4年度医学部国際交流委員会委員長・教授 和田健司

### 学生からの声

2023年3月に行なわれた、マレーシア・多文化体験プログラムに参加しました。プトラ・マレーシア大学(UPM)で講義を受けたり、クアラルンプールやプトラジャヤの街を見学したりと盛り沢山の1週間でした。特に、私たちが心温かく迎え入れてくれたバディ(UPMの学生)たちとの交流は刺激的で、一緒にアクティビティを楽しんだり、お互いの国のことや将来のことを語り合ったりしたことは忘れることのできない大切な思い出です。また、日本とは異なる非日常的な環境下で新しい自分を発見することもできました。是非皆さんもこうした機会を活かして海外へ飛び出し、自己の見聞を深めて欲しいと思います。

医学科2年 伏見 燿